



2024年2月14日

各位

会社名 サンデン株式会社

代表者 代表取締役 社長執行役員 ^{ジュウ} 朱 ^{ダン} 聃
(コード番号 6444 東証スタンダード市場)

問合せ先 経営財務管理本部長 高橋 純也
TEL(03)5828-5582

業績予想値と決算値との差異及び営業外費用／特別利益／特別損失の計上に関するお知らせ

2023年2月14日に公表しました2023年12月期連結業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします

1. 2023年12月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	183,000	△5,700	△3,700	△1,600	△14.36
当期実績値(B)	179,279	△11,018	△8,382	△3,359	△30.15
増減額(B-A)	△3,720	△5,318	△4,682	△1,759	—
増減率(%)	△2.0%	—	—	—	—

2. 差異の理由

売上高につきましては、主に中国地域での顧客車両販売減少により、減収となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、販売規模減少及び構成変化による悪化に加え、インフレ影響に伴う顧客回収の鈍化、さらに過去設計に伴う品質関連費用の引当金積み増し等により、減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益までの影響に加え、固定資産の減損損失が発生したものの、構造改革引当金の戻入等の見直しをしましたが、予想を下回りました。

3. 営業外費用の計上について

1) 営業外費用(為替差損)の計上

2023年12月期において、当社が保有する子会社に対する外貨建ての貸付金等の外貨建て評価替等により、連結財務諸表において、392百万円の為替差損を計上しております。

4. 特別利益の計上について

1) 特別利益(構造改革引当金戻入額)の計上

中国や欧米等の拠点において、製品ライフサイクルや販売数量に応じたグローバル生産シェアリング及び部品調達の集約による市場競争力向上や拠点再編及びそれに伴う人員削減といった施策による最適人員体制の構築に基づく構造改革引当金に関して、新たに策定した中期計画に基づいて、中国や欧米等における構造改革に関する施策の見直しを行った結果、不要となった引当額を連結財務諸表において、5,805百万円の構造改革引当金戻入額を計上しております。

2) 特別利益(貸倒引当金戻入額)の計上(個別)

当社の一部の連結子会社に対する損失に備えるために計上しておりました関係会社に対する貸倒引当金に関しまして、連結子会社の構造改革の施策に要する費用の見直し等に伴い、個別財務諸表において、6,718百万円の貸倒引当金戻入額を計上しております。

5. 特別損失の計上について

1) 特別損失(減損損失)の計上

当社及び当社の一部連結子会社において固定資産の減損損失等を計上することとなったため、連結財務諸表において、2,442 百万円の減損損失を計上しております。

2) 特別損失(関係会社出資金評価損)の計上(個別)

当社が保有する関係会社出資金のうち、実質価額が取得原価に対して著しく下落した出資金について、個別財務諸表において、2,142 百万円の関係会社出資金評価損を計上しております。

6. 業績に与える影響

上記の営業外損益及び特別損益は、本日公表の「2023 年 12 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。なお、上記の連結子会社に対する貸倒引当金戻入及び関係会社出資金評価損は、連結財務諸表においては消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以上